

学術交流支援資金 外国語教材作成資金 (2013年度) 報告書

体育1・体育2・体育3

担当教員：慶應義塾大学 専任講師(有期) 東海林祐子

本研究の背景と目的

本教材は、日本人大学生を対象としたライフスキル評価尺度(目標設定スキル・コミュニケーションスキル・礼儀マナースキルなど10尺度)を外国人留学生も含めた尺度に改善することを第一の目的とする。SFC 体育では2012年より体育授業を通じたライフスキル獲得のための授業改善およびライフスキル獲得を図る尺度開発を行っている。本尺度は日本人大学生を対象に開発された尺度であり、留学生を含めた尺度としての検討が求められている。また、ライフスキルの獲得の授業支援ツールとしてオンライン体育ノートを開発したが、留学生が増える中、これらの体育ノートの英語化も急務である。

教材の概要

体育授業におけるスポーツを通じたライフスキル獲得のために、授業前後のライフスキルの評価尺度を各自で実施する。ライフスキル獲得のための教材は体育システムの個人ページにあり、常に自分自身で確認できるようになっている。授業前のライフスキルの獲得レベルを自分自身で把握し、自己の強みと弱みを確認できる。スポーツを通じたライフスキル獲得のための運動プログラムによって自己の強みを伸ばし、弱みを修正できるように学生個々が意識できるようなシステムとなっている。

留学生(GIGAクラス)対応のための教材づくり

ライフスキル評価尺度の英語版を作成し、2013年度よりGIGAクラスで実施した。運動前後におけるライフスキルの獲得レベルの変化については、「コミュニケーションスキル」および「ストレスマネジメント」の二つで顕著に伸びを示した。担当教員へのヒアリングによると、授業前半では同じ出身国同士で固まり、他の外国人と積極的に交流をしない傾向にあるが、授業後半ではコミュニケーションが促進される簡単な種目や個人のスキルが、チームのスキルに結びつくような(例えばリレーや大縄跳びなど)種目を実施することで、徐々にコミュニケーションが形成されるということであった。また、こうした他者と触れ合う機会が友人を作る機会となり、ストレスマネジメントの効果につながるのではないかと考えられる。

レポートの記述から見るコミュニケーションスキルの獲得とストレスマネジメント

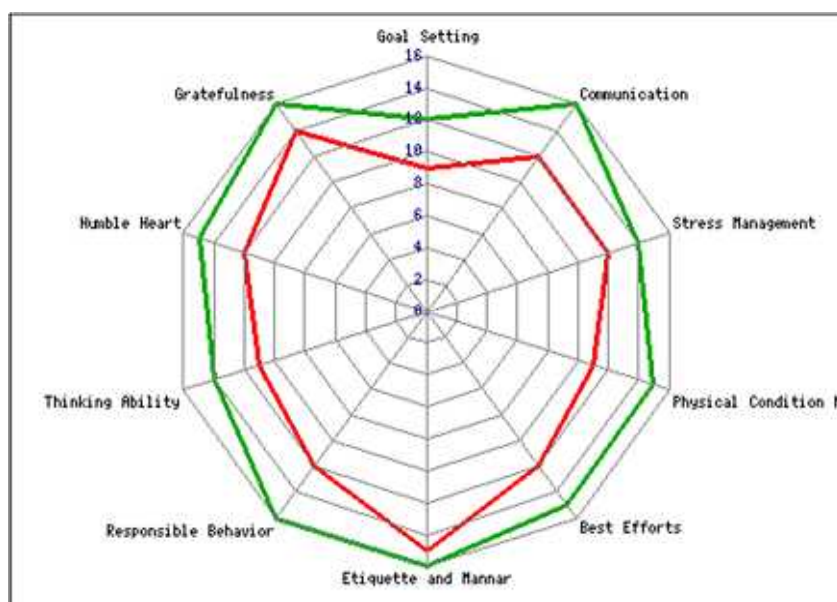
体育授業におけるスポーツを通じた効果について下記の学生レポートの一部を紹介する。

スポーツを通じて他者を信頼することやチームワークの重要性などを学び、自らの大学生活の貴重な経験となっていることがわかる。(2013年体育 GIGA クラスレポートより引用)

In conclusion, coming all the way from my hometown to Japan and stepping onto a college life have altered my perspective on human and the world, and taught me life experiences I would never have had if I were to stay in my country. I have gotten a huge opportunity to broaden my mind and opinion by coming to Keio University. Taking the Physical Education course, I was able to release the accumulated stress from the university life and enjoy playing sports with my classmates and getting to know them more. Furthermore, it had taught me values on teamwork, specifically on trust and forgiveness, in which I discovered that I value these fundamental human aspects as a necessity to maintain the teamwork stability, and more importantly, it may increase the team's enthusiasm, producing a better cooperating outcome.

ライフスキル評価尺度の実際

授業前後のライフスキルの評価尺度を学生自ら確認できるシステムとなっている



(* HP 管理運営は環境情報学部の萩野達也氏の協力による、本データは報告書イメージのために作成)

今後の展望

現在、ライフスキル評価尺度は体育 1 GIGA クラスを含む 1 年生全クラスで活用している。今後は体育 2、体育 3 での活用も考慮し、どのタイミングで実施すると効果的か検討したい。また 1 年生全体に不足しがちな目標設定スキル (Goal Setting) についても授業プログラムの検討を進めている。引き続き、GIGA クラスのライフスキル項目についてはデータを取り続け検討中である。<https://wellness.sfc.keio.ac.jp/v3/ID69,026c55db39e2116d611e9f029d9c2069/pc.php> (SFC 体育システムでのログイン、パスワードが必要である)